県立七里ガ浜高等学校長

令和４年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 (令和２年度策定)	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの確かな学力の向上を図り、進路実現に向けた支援を推進する。 ②国際理解教育等を通して、生徒一人ひとりの自立に向けて、視野を広げ豊かな人間性と社会性を育成する。	①生徒の学力向上のため、学習環境の整備を行うとともに、組織的な授業改善につとめ、生徒が主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、生徒の考える力の深化をはかる。 ②姉妹校交流や留学生との交流などの教育活動を通して、生徒一人ひとりが主体的に取り組める企画の推進に努める。	①(1)ICT 機器を用いた授業や課題などの多様な学習機会の提供を図る。特に１学年以降は一人一台端末、デジタル教科書等が導入されることから、教員のスキルアップに努める。 (2)研修等を行い、教員の授業力の向上を図ることにより、生徒の深い学びの実現をはかる。 ②生徒の主体的な取り組みとなるような国際交流の環境を整える。	①ICT 機器を用いた授業展開や課題を行った教員数が増加したか。 生徒に学習意欲の向上が見られたか。 (2)研修等を何回行うことができたか。また、その成果が生徒による授業評価の向上に繋がったか。 ②生徒が主体的に取り組める場面が増えたか。					
2	生徒指導・支援	①生徒のさまざまな活動の主体性を尊重し、生徒に向き合って、リーダーシップを育成する。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制を定着させる。	①生徒組織それぞれの自主的・主体的な運営と有意義な活動を目指し、適切な指導と助言を行う。 ②(1) 生徒の基本的習慣の確立とコロナ禍での消毒と手洗いなどの生徒の健康に配慮する。 (2) 教育相談体制を充実させ、個に応じた支援体制を整備する。	①生徒会本部、各種委員会、部活動のあり方から運営方法等を現在に合わせ、再構築するため、生徒と共に検討する場づくりや整理を行う。 ②(1) 生徒の毎日の検温と消毒、食事の時の黙食の徹底。こまめに消毒と手洗いをすること。 (2) コーディネーター会議を開催し、情報の共有を行い、校内の教育相談体制を整える。	①各種活動において、生徒による総括や、生徒アンケートで活動満足度を計り、評価する。 ②新型コロナウイルス感染症対策として、こまめな消毒と手洗いの徹底、黙食を行うことができたか。 (2) コーディネーター会議開催の回数が増え、情報の共有を行うことができたか。					

	視点	４年間の目標 (令和２年度策定)	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	キャリア教育を充実させ、目的意識を持って学習に取り組む姿勢を育む。	生徒自身が希望する進路について考え判断する力を育めるよう、３年間を通じて必要適切な支援を行う。	３か年を通じてキャリア教育ガイドブックの活用等、適切なキャリア教育を行う。	説明会やガイダンス、体験の機会、各種試験を有機的に結び付けて行うことができたか。					
4	地域等との協働	地域などの教育力の活用や地域等への貢献活動を通して、地域に信頼される学校づくりを推進する。	地域に貢献できる教育活動の充実を図る。	地域との交流を深め、地域防災について連携をさらに深める。	防災教育において具体的な地域理解及び体制づくりができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安心・安全な教育環境の整備に努めるなど、教育課題に対して積極的に取り組むとともに、学校の取り組みの情報発信に努める。 ②教員の働き方改革を推進し、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①継続した生徒の学習活動の整備・充実に努めるとともに、社会で必要とされる学校づくりを行う。 ②風通しの良い職場づくりを目指し、働きやすい職場環境を整える。	①校内美化の活動及びチェック体制を整えるとともに、学校備品の維持・管理に努める。 ②互いに業務を分担し、支えあうことで業務に対するストレスを軽減し、効率的に校務を行う。	①校内美化活動の内容を向上させることができたか。学習環境を向上させることができたか。 ②ストレスチェックで高ストレス者の割合が昨年に比べて減少したか。					